

2026年4月22日

各 位

会社名 株式会社アクリート
代表者名 代表取締役社長 株本 幸二
(コード番号：4395、東証グロース)
問合先：取締役経営管理本部長 山本 敏晴
電話番号 050-5369-3777

Forward Edge-AI Singapore Pte. Ltd. への出資に関するお知らせ

当社は、本日担当役員と協議のうえ、代表取締役社長決裁にて、Forward Edge-AI Singapore Pte. Ltd. (以下「FEAI シンガポール」という) へ出資を実行しましたので、お知らせいたします。

記

1. 目的及び理由

世界的な量子コンピュータ技術の飛躍的な進展に伴い、従来の暗号方式が短時間で解読されるリスク (Q-Day) が迫るなか、次世代の安全基準である「耐量子計算機暗号 (PQC)」への移行は各国の政府機関や重要インフラ事業者にとって喫緊の課題となっております。「耐量子計算機暗号 (PQC)」の導入ビジネスは、グローバル規模の極めて広大な市場が形成されつつあります。

当社との合弁事業を展開する Forward Edge-AI, Inc. (以下、「FEAI」という) は、米国国家安全保障局 (NSA) が策定した CNSA2.0 に準拠したハードウェア型 PQC 暗号プラットフォーム「Isidore Quantum® (イシドア・クオンタム)」等を展開するグローバルリーダーですが、FEAI シンガポールは、FEAI 製品 (Isidore Quantum®に加え、AI を活用した物質分析プラットフォーム「Blaise™ (ブレイズ)」や不正なメッセージ等に対して AI を用いて検知するソリューション「Gabriel® (ガブリエル)」) の ASEAN 地域における販売・ライセンス供与ならびに保守・サポートを提供する戦略拠点です。既に現地有力企業との協業協議も開始しており、その成長が期待されます。

当社は、Forward Edge-AI Japan 株式会社 (以下「FEAI-JP」という) の親会社として、FEAI 製品の日本市場における販売・ライセンス供与等を推進しております。今般の FEAI シンガポールへの出資により、日本と ASEAN 地域の双方の顧客基盤を活かした顧客の相互紹介・共同提案が可能となります。具体的には、日本に本社を置きシンガポールに拠点を有する企業や、その逆に ASEAN 地域を主拠点とし日本でのビジネスを展開する企業に対し、両社が連携して一貫したソリューション提供を行ってまいります。

また、当社グループが日本市場で培ってきた技術開発の知見や導入実績を FEAI シンガポールと共有し、ASEAN 各国の市場ニーズや規制動向のヒアリングに活かすことで、製品・ソリューションの継続的な改善と現地最適化を図ってまいります。

当社は、本出資を通じて日本・ASEAN 地域にまたがる連携体制を一層強化し、当社ソリューション事業と FEAI シンガポールとの共同事業展開を積極的に推進してまいります。

2. 出資先の概要

(1) 名称	Forward Edge-AI Singapore Pte. Ltd.	
(2) 所在地	13 Kaki Bukit Road 1, Unit 04-06, Singapore 415928	
(3) 代表者の役職・氏名	Chairman Eric Adolphe CEO Vincent Choy	
(4) 事業内容	ASEAN 地域における FEAI 製品の販売等	
(5) 資本金	相手先の要望により、非開示とさせていただきます。	
(6) 設立年月日	2025 年 11 月 20 日	
(7) 大株主と持株比率	相手先の要望により、非開示とさせていただきます。	
(8) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態	相手先の要望により、非開示とさせていただきます。	
(9) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社の出資先である FEAI が、当該会社の株式を保有しております。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

3. 日程

(1) 決定日	2026 年 4 月 22 日
(2) 契約締結日	2026 年 4 月 22 日 (予定)

4. 今後の見通し

本件による 2026 年 12 月期業績への影響につきましては、現在精査中でございます。今後、開示が必要な状況になった場合は、速やかに開示いたします。

以上